

## 講 義 要 項

授業科目		災害看護 I		担当者	橋口 恒夫
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	15 時間	講義・演習・DVD・その他		2 年次・後期
授 業 目 標	1. 災害看護の基礎、災害に関する社会の対応や仕組みを理解する。				
授 業 計 画	<p>1. 鹿児島県防災センター見学</p> <p>1) 防災の備え、鹿児島県災害システム、CPR・AED 等</p> <p>2. 災害及び災害看護学に関する社会の対応や仕組みの理解</p> <p>1) 災害・災害看護学の歴史 <span style="margin-left: 200px;">2) 災害・災害看護学の定義</span></p> <p>3) 災害の種類・疾病構造・災害サイクル・災害関連死 <span style="margin-left: 20px;">4) 災害時要援護者</span></p> <p>3. 災害発生時の社会の対応や仕組み・国際看護</p> <p>1) 災害に関する制度(災害対策基本法・災害援助法・防災計画等)</p> <p>2) 災害情報と伝達のしくみ</p> <p>3) 災害関係各機関の支援体制と国際化時代の災害看護</p> <p>4) 災害時のボランティア活動</p> <p>4. 災害時に必要な技術</p> <p>1) トリアージ <span style="margin-left: 200px;">2) 治療・搬送</span></p> <p>5. 災害各期における看護活動</p> <p>1) 災害サイクル各期における看護活動 <span style="margin-left: 200px;">2) 在宅療養・避難所・仮設住宅・復興住宅における看護</span></p> <p>3) 災害サイクル、災害関連死</p> <p>6. 災害時の被災者および援助者の心理</p> <p>1) 被災者および援助者のストレスとこころのケア</p> <p>7. 災害への備え</p> <p>1) 個人の備え <span style="margin-left: 200px;">2) 地域アセスメント</span></p> <p>3) 地域住民との連携</p>				
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 統合分野, 災害看護学・国際看護学, 医学書院.				

評価	1. 単位修得試験
備考	実務経験：救急認定看護師・DMAT の資格を活かし、豊富な知識・経験をもとに授業を行う。